

## 第9期(平成26年3月期)決算の概要

### 1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成26年 3月期 (A)	平成25年 3月期 (B)	増減		平成27年 3月期 通期見通し
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)	
<b>営業収益</b>					
<b>高速道路事業</b>	3,167	2,227	939	42.2%	2,158
料金収入等	1,739	1,711	28	1.6%	1,748
道路資産完成高 (注)2	1,427	515	911	176.8%	409
<b>関連事業</b>	128	139	▲ 11	▲ 7.9%	239
受託事業	85	93	▲ 8	▲ 8.7%	180
その他の事業 (注)1	42	45	▲ 2	▲ 6.3%	58
セグメント間取引消去	▲ 2	▲ 2	0	-	-
	3,293	2,364	929	39.3%	2,397
<b>営業費用</b>					
<b>高速道路事業</b>	3,185	2,205	979	44.4%	2,152
道路資産賃借料	1,316	1,277	38	3.0%	1,341
道路資産完成原価 (注)2	1,460	528	931	176.1%	409
管理費用	409	399	10	2.5%	402
<b>関連事業</b>	124	135	▲ 11	▲ 8.2%	234
受託事業	86	94	▲ 8	▲ 8.5%	180
その他の事業 (注)1	38	41	▲ 3	▲ 7.6%	53
セグメント間取引消去	▲ 2	▲ 2	0	-	-
	3,307	2,338	968	41.4%	2,387
<b>営業利益</b>					
<b>高速道路事業</b> (注)2	▲ 18	21	▲ 39	-	5
<b>関連事業</b>	3	3	0	4.7%	4
	▲ 14	25	▲ 39	-	10
<b>経常利益</b>	▲ 9	31	▲ 41	-	8
<b>当期純利益</b>	▲ 19	17	▲ 36	-	8

(注) 1 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

2 平成26年3月期における高速道路事業の損失は、緊急修繕の一部について、高速道路事業に係る利益剰余金の活用を前提に、高速道路機構への債務の引渡しを行わないで高速道路機構に帰属する道路資産を形成する事業を実施したことによるものです。(道路資産完成原価と道路資産完成高の差が32億円発生)

3 平成27年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

### 2. 料金収入及び通行台数実績

項目	平成26年 3月期	平成25年 3月期	増減率
料金収入(億円)	1,733	1,704	1.7%
一日当たり通行台数(全体)(千台/日)	741	724	2.3%
一日当たり通行台数(普通車)(千台/日)	678	665	2.0%
一日当たり通行台数(大型車)(千台/日)	63	59	5.8%

**(参考)平成26年3月期の個別業績**

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成26年 3月期 (A)	平成25年 3月期 (B)	増減		平成27年 3月期 通期見通し	
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
営業収益	高速道路事業	3,160	2,219	940	42.4%	2,156
	料金収入等	1,733	1,704	28	1.7%	1,747
	道路資産完成高	(注)1 1,427	515	911	176.8%	409
	関連事業	100	107	▲ 6	▲ 6.4%	198
	受託事業	85	93	▲ 8	▲ 8.7%	180
	その他の事業	15	13	1	9.0%	17
		3,261	2,327	933	40.1%	2,355
営業費用	高速道路事業	3,184	2,204	980	44.5%	2,154
	道路資産賃借料	1,316	1,277	38	3.0%	1,341
	道路資産完成原価	(注)1 1,460	528	931	176.1%	409
	管理費用	407	397	10	2.6%	403
	関連事業	98	105	▲ 6	▲ 6.5%	195
	受託事業	86	94	▲ 8	▲ 8.5%	180
	その他の事業	12	11	1	10.0%	15
	3,283	2,309	973	42.1%	2,350	
営業利益	高速道路事業	(注)1 ▲ 23	15	▲ 39	-	2
	関連事業	2	2	▲ 0	▲ 2.4%	2
	▲ 21	17	▲ 39	-	5	
経常利益	▲ 18	20	▲ 38	-	2	
当期純利益	▲ 23	10	▲ 34	-	1	

(注) 1 平成26年3月期における高速道路事業の損失は、緊急修繕の一部について、高速道路事業に係る利益剰余金の活用を前提に、高速道路機構への債務の引渡しを行わないで高速道路機構に帰属する道路資産を形成する事業を実施したことによるものです。(道路資産完成原価と道路資産完成高の差が32億円発生)

2 平成27年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。